

名古屋市立矢田中学校 第1学年

学年通信

12月号

12月22日(金)発行

・ “本屋さん” ～My Favorite Bookshops～ ・

今年度は、校舎の大規模改修工事のため、2学期以降図書室が利用できなくて残念でした。でも、図書委員会で学級文庫用に本を選んで充実させたり、東図書館を利用したり、生徒のみなさんはそれぞれに本に親しんでいるようです。

子どもの頃、自分の家が“本屋さん”だったらいいのにな、と思ったものです。当時、一番身近だった本屋は、筒井町商店街の「太陽堂書店」でした。漫画を立ち読みしていると店のおばさんがハタキをかけにくる、と評判になっていましたが、そんな昭和の香りがする本屋も今はありません。

もっとたくさん本がある大きな本屋は、日曜日に父が連れて行ってくれた東片端にある「正文館書店」です（ここは今もあります）。入ってすぐ右手の階段を上ったところに、小学館の『少年少女世界名作全集』がずらりと並んでいて、おこづかいで一冊ずつ気に入ったものを買うのが楽しみでした。

中高生の頃によく行った本屋は、「徳川書店」です。店の奥さんはいつも和服姿で、印象に残っています。東海中・高生がよく来ていましたね。その場所は今、「如水」という名の知られたラーメン屋になっています。



そんなわけで、どんどん町の本屋がなくなってきました。最近よく利用するのは、栄の「丸善」です。ここは東京に本店がある老舗で、数年前名古屋店は新しいビルになりました。洋書が充実していて、雰囲気も素敵です。もちろん、みなさん向けの学習参考書などもありますよ。でも、私は以前の「丸善」が懐かしく、忘れられません。1階の文具売り場は宝箱のようで、活気がありましたし、上の方の階には舶来の洋服売り場があって、品のよい老人が買い物をしていたり、カフェで静かに本を読んでいたりで、毎年催される世界の絵本展はいつもワクワク、楽しかったです。

ところで、みなさんは千種区にある「メルヘンハウス」という本屋を知っていますか。『一人でも多くの子どもに読書の喜びを』をスローガンに、1973年に国内初の子どもの本専門店として誕生しました。その歴史ある本屋が、2018年3月31日で閉店するのです。ニュースで知って、驚きました。少子化の影響でしょうか。それとも、本屋というものが絶滅危惧種になってきたのでしょうか。閉店前に一度「メルヘンハウス」を訪れようと思います。

では、よいお年を。

(A 組担任 中川弘美)

・ 福祉学習 ・

2学期は、いろいろな行事が終わって、いよいよ福祉学習の時間が多くなってきました。毎時間いろいろな障害や福祉活動について学んでいますが、みなさんはどのような感想をもっていますか。今後、どんどん、すべての人が平等に、仲良く暮らしていくために、みなさんひとりひとりが意識をもつことや、協力することが求められていきます。3学期もしっかり学んで、よりよい社会を築いていけるようにできるとよいですね。みなさんが学習した時の感想の一部を紹介します。

・今の生活は普通だと思っていたけれど、もし、突然目が見えなくなったらとか、効き手が使えなくなったらとかを考えると、今の生活はすごくしあわせだと、改めて思えた。自分だけでなく、人のことも気にしていけるように努力したい。Welfare! よりよく、しあわせに生きたい。生きていけるように精一杯のことをする。一番のしあわせは、生きるということなんだ。毎日毎日をしあわせに生きるのだ。（A組 女子）

・僕は、手や足が動けなくなったら、自分もっている夢をあきらめます。だけど、動画に出ている人たちは、あきらめずに頑張っていました。みんな自分なりに頑張っていて、すごく頑張りが見えます。みんなショックでいろいろあったけど、今は笑顔で頑張っています。だから自分も頑張ろうと思います。すごいなあと思います。（A組 男子）

・今日の学習を通して、世界にはたくさんの方がいて、たくさんの思いをもっている人がいるんだと改めて気付くことができました。ひとりひとり、それぞれの思いをもって生きていることは、金子みすずさんの「みんなちがってみんないい」にあてはまっているなと思いました。自分の身になにかあったら、周りの人に頼りながら生き、周りの人が困っていたら、助けてあげることが大切だと思いました。それが協力し合いだなと感じた。（A組 女子）



・自分が思っていた以上に障害者スポーツがたくさんあった。どれも本当に難しそうだった。自分はバスケット部に入っているのだから、「車いすバスケット」というスポーツが気になった。特にその「車いすバスケット」が難しそうだった。なぜなら車いすをしながらシュートやパスをして、動きがまげしかったからだ。自分は車いすをしていなくても、トラベリングやパスミスなどをするのに、車いすに乗ってバスケットをするなんてすごいなあと思った。なので自分も頑張ろうと思った。（B組 男子）



・僕が驚いたのは、障害というものがあるにも関わらず、活発に健常者以上に運動しているということです。僕も、一応水泳や陸上をしていて頑張っていますが、この人たちも障害があるのに努力をしてパラリンピックという舞台で戦っているのはすごいことで、意志は人一倍強いことだと思いました。なので、障害者の方は、逆境にあっても、それを乗り越えて生き抜く、活発な人達なんだなと思いました。なので、少しでもサポートできるように、助けを求められたら、積極的に助けたいです。（B組 男子）

・思っていた以上に、パラリンピックの種目が多くて驚いた。知らないスポーツも、知っているスポーツもあって、不自由なところがある分、他のところが敏感になったりしていた。実際に映像で見えてみて、迫力もあったり、力強くプレーをしていたりして、障害があってもそこを補ってやっていたから驚いた。競技体験を見ていて、目が見えないというだけで、どんなにつらいかわかった。これからも不自由な人のために、たくさんのスポーツをつくってほしいと思った。（B組 男子）



・1月の主な予定・

- 9日（火）始業式
- 10日（水）生徒委員会
- 11日（木）課外活動休止期間（～18日（木））
- 15日（月）生徒議会
- 18日（木）実力テスト（～19日（金））
- 22日（月）学校集会、第3回学校開放日

